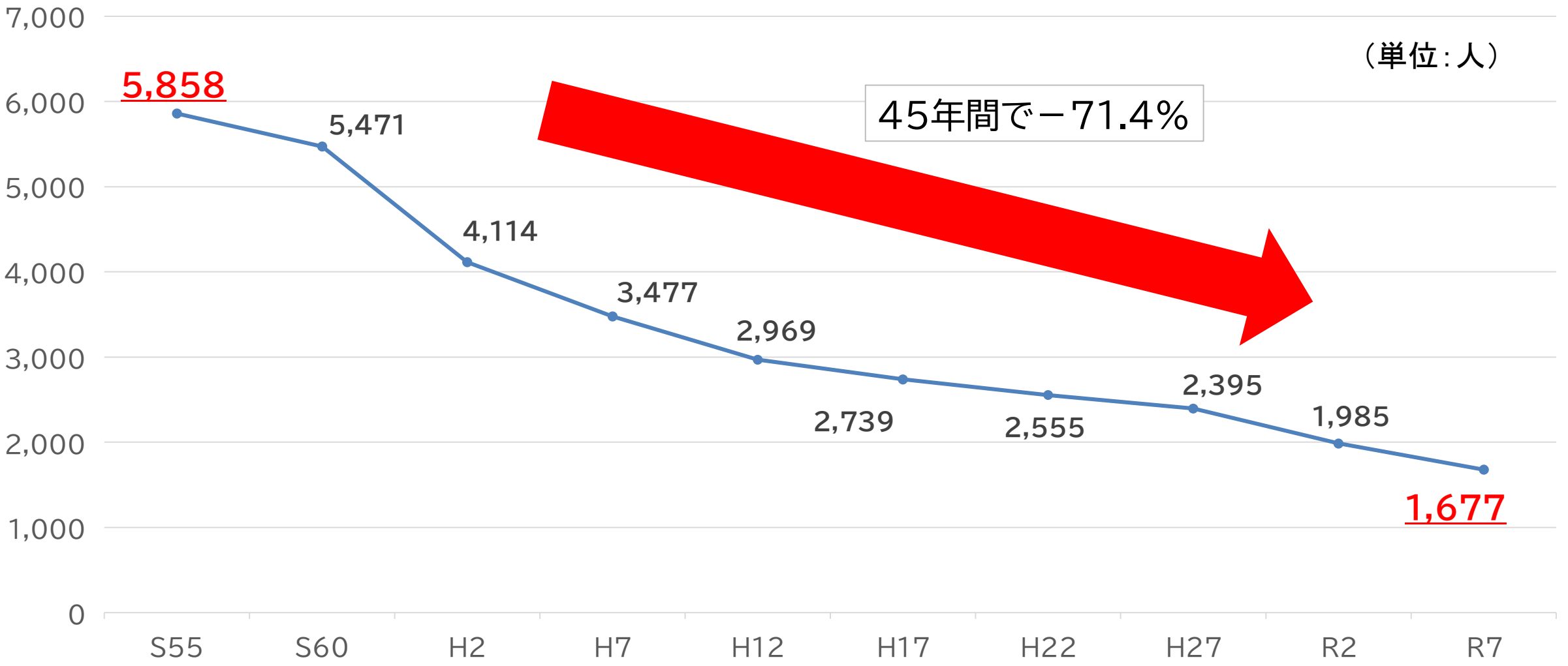
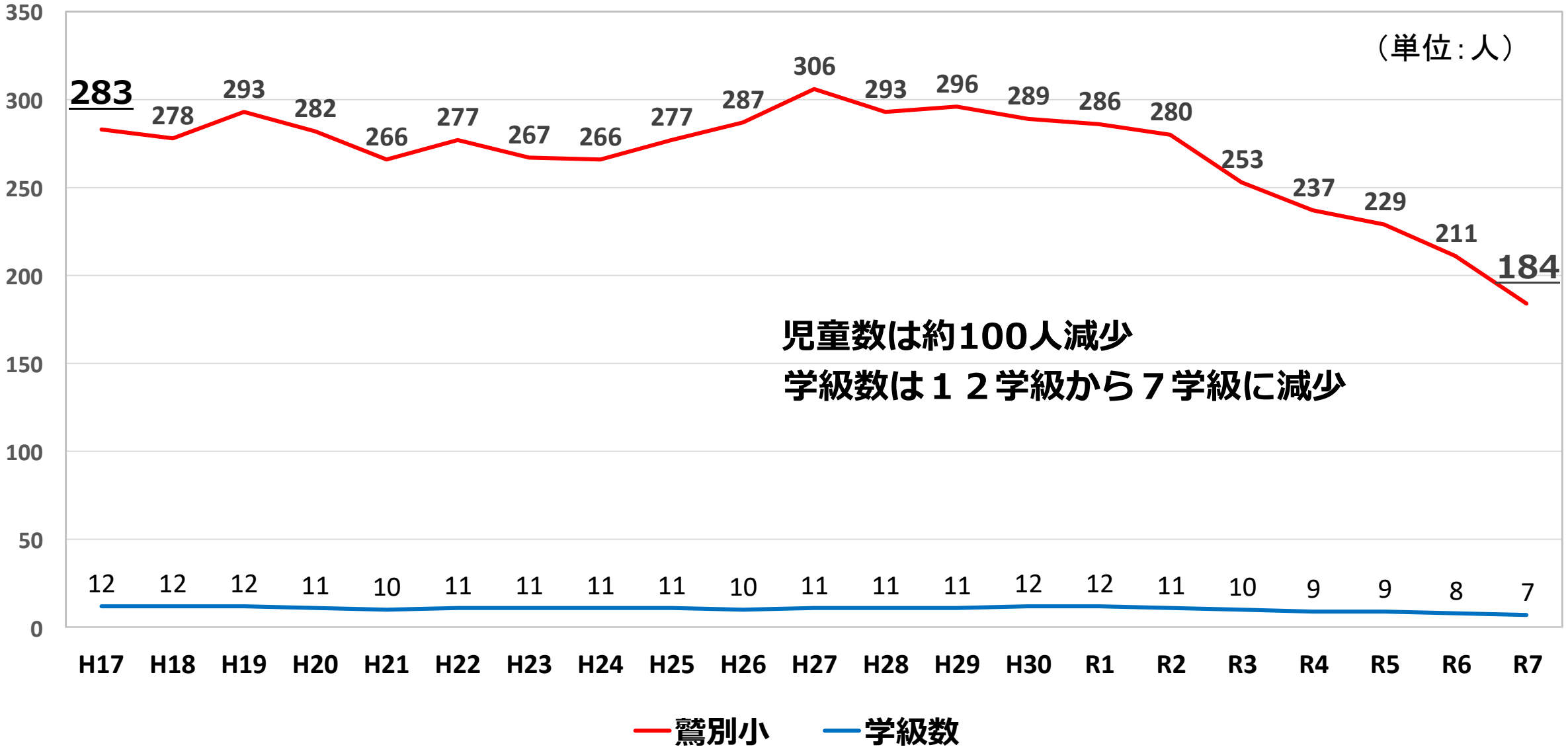
鷲別小学校現状と今後の見通しについて
地区別検討委員会での議論について

令和８年７月２２日
登別市教育委員会

市内小学校の児童数（推移）



鷲別小学校の児童数（推移）



学校小規模化の「良さ」と「課題」①

「良さ」の例

【学習面】

・一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい

・学校行事等において、個別の活動機会を設定しやすい

【生活面】

・児童生徒相互の人間関係が深まりやすい

・異学年間の縦の交流が生まれやすい

学校小規模化の「良さ」と「課題」②

「良さ」の例

【学校運営面】

- 教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい
- 学校が一体となって活動しやすい
- 施設や設備の利用時間等の調整が行いやすい

学校小規模化の「良さ」と「課題」③

「課題」の例

【学習面】

- 集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい
- 学級間の相互啓発がなされにくい
- グループ学習や習熟度別学習など多様な学習・指導形態をとりにくい
- 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい

学校小規模化の「良さ」と「課題」④

「課題」

【生活面】

・クラス替えが困難なことから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい
・性別の極端な偏りが生じる可能性がある
・切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい

【学校運営面】

・教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい

学校小規模化の「良さ」と「課題」⑤

きめ細やかな指導

学校が一体となって活動

小規模化の「良さ」はICTの活用や指導方法の工夫などにより一定規模の学校でも可能

個別の活動機会を設定

児童生徒相互の人間関係

小規模校の「課題」は、小規模校のまま解決することは難しい

施設や設備の利用時間等の調整

教職員間の意思疎通

学校規模の確保等について（国）

義務教育段階の学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的としています。このため、学校では、**単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく**、児童生徒が**集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けされることが重要**になります。そうした教育を十全に行うためには、一定の規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスの取れた教職員集団が配置されていることが望ましいものと考えられます。このようなことから、**一定の学校規模を確保することが重要**となります。

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（H27.1.27 文部科学省）より

登別市における学校規模等の目安

国の公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引も参考に、「登別市学校適正配置基本方針」で、本市の学校・学級規模の目安を定めています。

●学校規模の目安

【小学校】

１学年１学級以上、ただし１学年２学級以上が望ましい

【中学校】

１学年２学級以上、ただし１学年３学級以上が望ましい

●学級規模の目安

１学年１学級の場合、２０人程度以上

鷲別小学校の状況

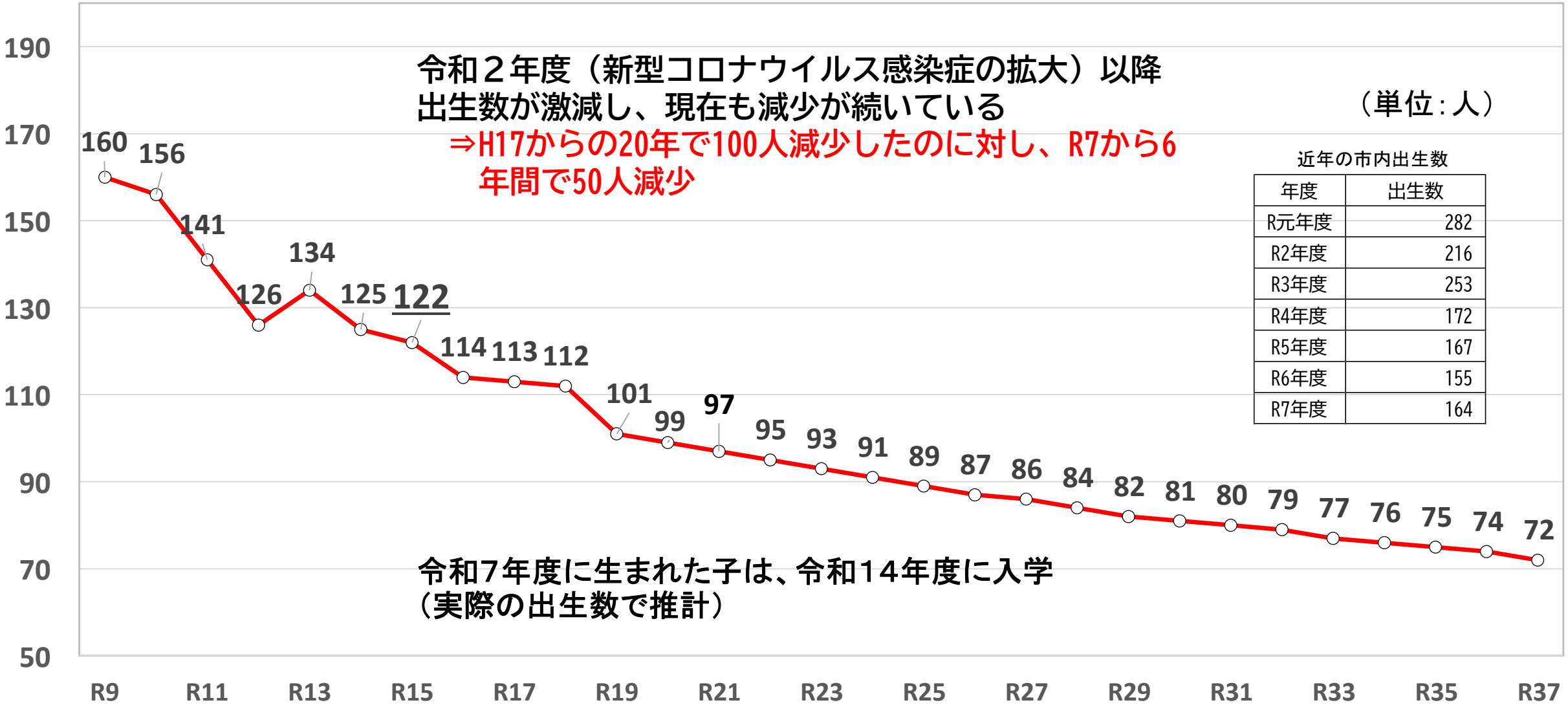
●学校規模

※R8.5.1時点

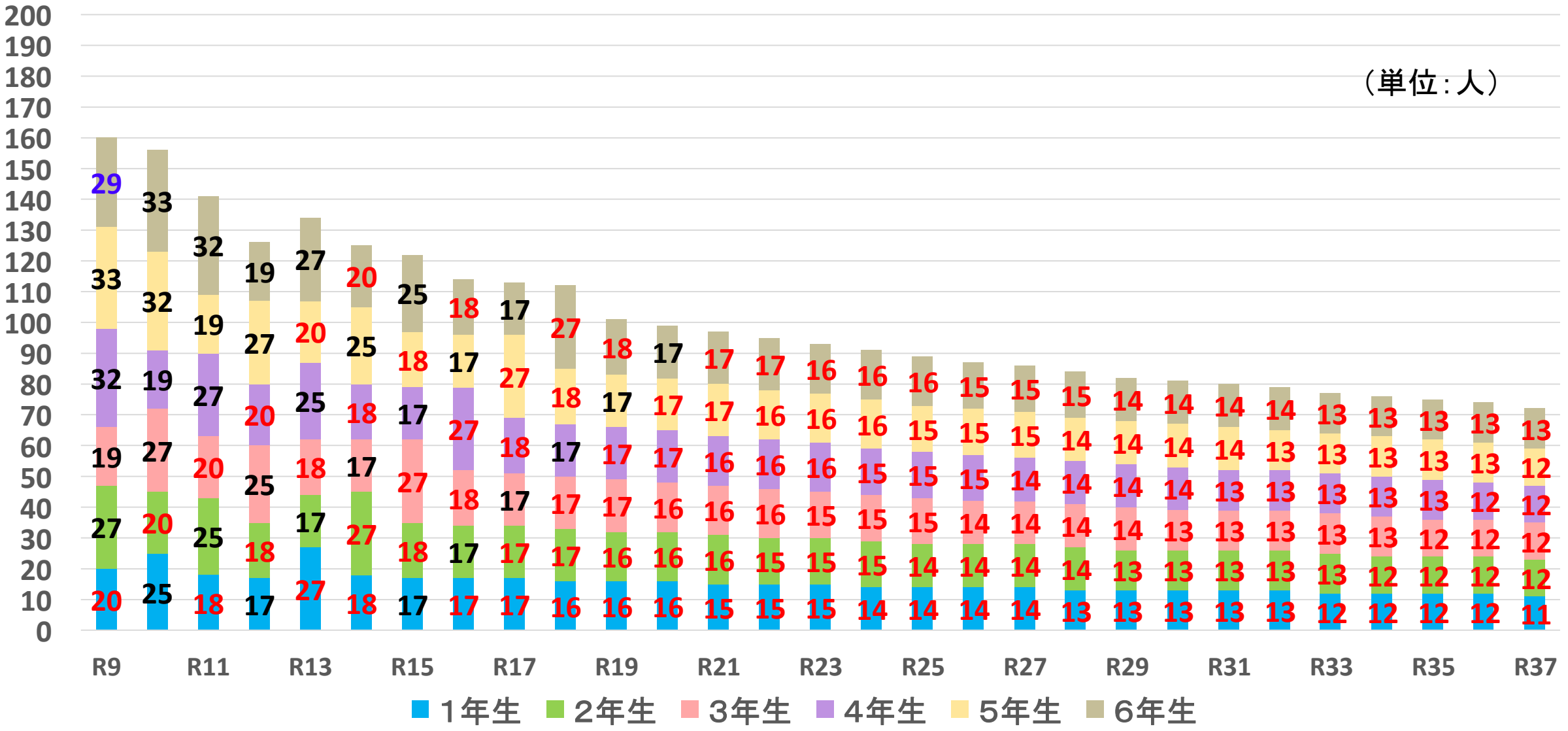
１年生	１学級（25人）	４年生	１学級（31人）
２年生	１学級（18人）	５年生	１学級（26人）
３年生	１学級（27人）	６年生	１学級（26人）

・全ての学年で１学級
・１学年20人以下の学年が生じている
　⇒　学校規模の基準を満たしていない

鷲別小学校の児童数（推計）



鷲別小学校の児童数推計（学年別）



鷲別小学校の学級数推計

（単位：学級）

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6年生	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
教職員	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

・令和8年度から全学年が1学級
・20人以下の学年が令和11年度以降複数発生

※赤字のセル塗りつぶしが20人未満の学級が予想される学年

鷲別小学校の今後の見通し

現段階で学校規模の目安を下回っており、今後も20人以下の学級の学年が生じる。

全校生徒は年々減少し、令和17年度には現在の約6割まで減少する。（5つの学年が20人以下）

児童数は年々減少が続く

学校の小規模化がさらに進む見込み

鷲別小学校の今後の見通し

小規模化がさらに進むことにより

●集団の小規模化がさらに進み、経験や切磋琢磨の機会が一層減少する可能性あり

●教員配置数が増加する見込みはなし

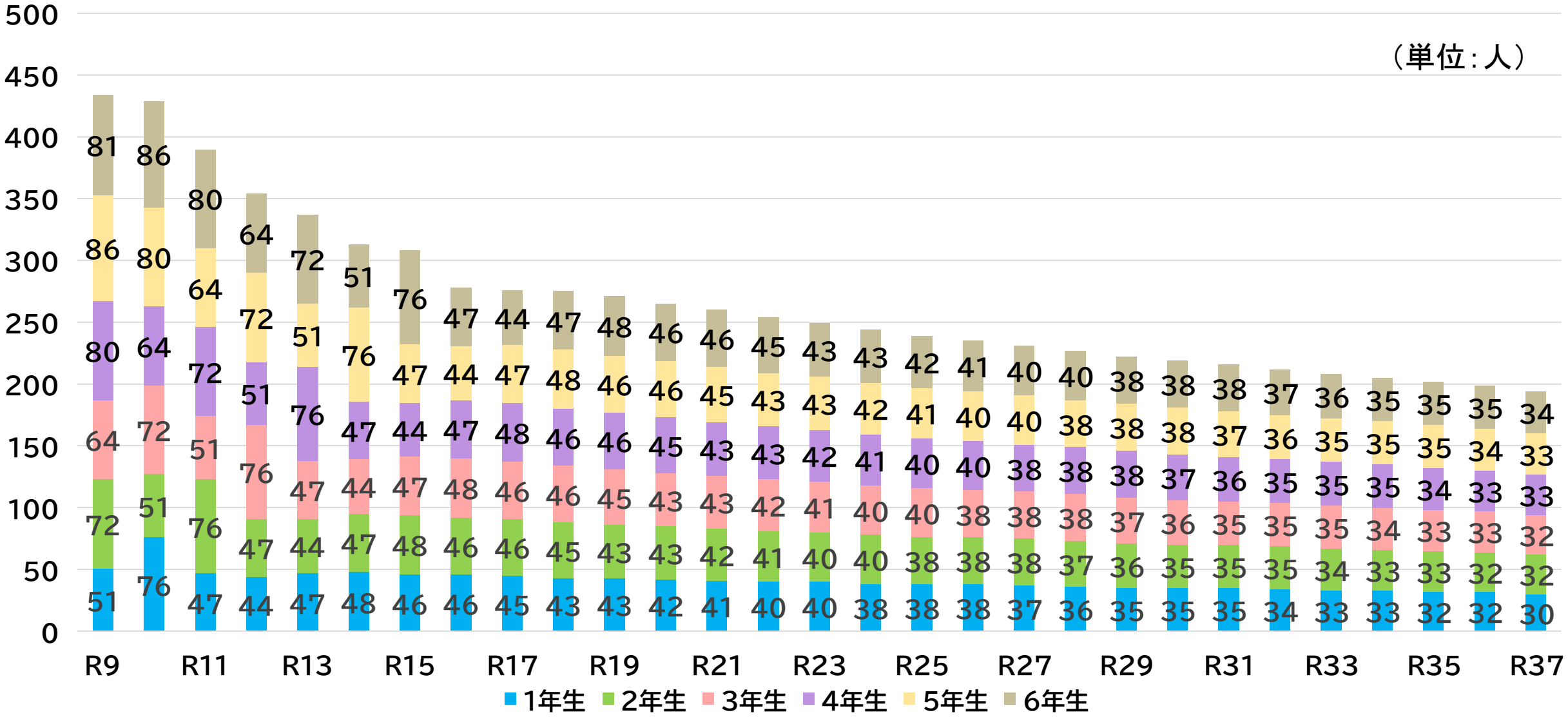
➡ 教員が教材研究をする時間の確保が難しい

➡授業の質の維持・向上が難しくなる

今後も小規模化が進展することが予測される状況を踏まえれば、若草小学校と統合を行う必要あり

鷲別小学校の将来を見据え
統合の是非に関し議論

【参考】仮に統合となった場合の児童数の推移



【参考】仮に統合となった場合の学級数の推移

（単位：学級）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37
1年生	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年生	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
3年生	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
4年生	3	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
5年生	3	3	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
6年生	3	3	3	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1

統合による教育環境の変化

新小学校の生徒数は約400人

↓

令和28年度まで、2～3学級を維持

↓

●児童数の増加で1学年2学級以上を確保

⇒交流経験や切磋琢磨の機会が増加

⇒クラス替えが可能となり人間関係の固定化を回避

●学級数の増により教員配置数が増加

⇒グループ学習時などの教員確保が円滑化

地区別検討委員会での議論について

①統合の必要性について議論

先ずは、児童の教育環境の充実の観点から統合の是非を検討

②統合にあたっての課題検討

Ⅰ 教育上の課題

（例）使用する校舎、校名、通学方法・手段、児童生徒の交流、
放課後の過ごし方　など

Ⅱ まちづくりの課題

（例）避難所や投票所の機能、校舎や体育館等の利活用

地区別検討委員会としての結論（意見書を市教委へ）

課題に対する案

【教育上の課題】
- ・使用する校舎　⇒　若草小学校校舎を利用
- ・校名　⇒　学校統合委員会で検討
- ・通学方法・手段　⇒　徒歩（若草人道跨線橋・鷲別学田通り踏切を使用）
- ・統合に向けた児童生徒の交流　⇒　統合の前年度に年間を通じて実施

【まちづくりの課題】
- ・避難所（グラウンド：指定緊急避難場所、学校：指定避難所）
  - ⇒　現鷲別小学校校舎は、鷲別中学校として転用
- ・鷲別中学校校舎は解体（時期は未定）
  - ⇒　学校は運動場として開放することも検討

課題に対する案

【その他の課題】

・放課後子ども教室、放課後児童クラブについて

①放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携・一体化

②若草小学校の放課後児童クラブに集約（鷲別小学校区の放課後児童クラブと放課後子ども教室は廃止）

③統合後も、鷲別児童クラブと放課後子ども教室は継続

⇒現実的に、学校から離れた場所で放課後児童クラブ・放課後子ども教室を実施することは難しいことから、①または②として、放課後児童クラブ運営主体の保健福祉部と、放課後子ども教室の運営主体と協議し、方向性を決定する。

課題に対する案

若草小学校は、津波発生時の避難場所までの距離が近い





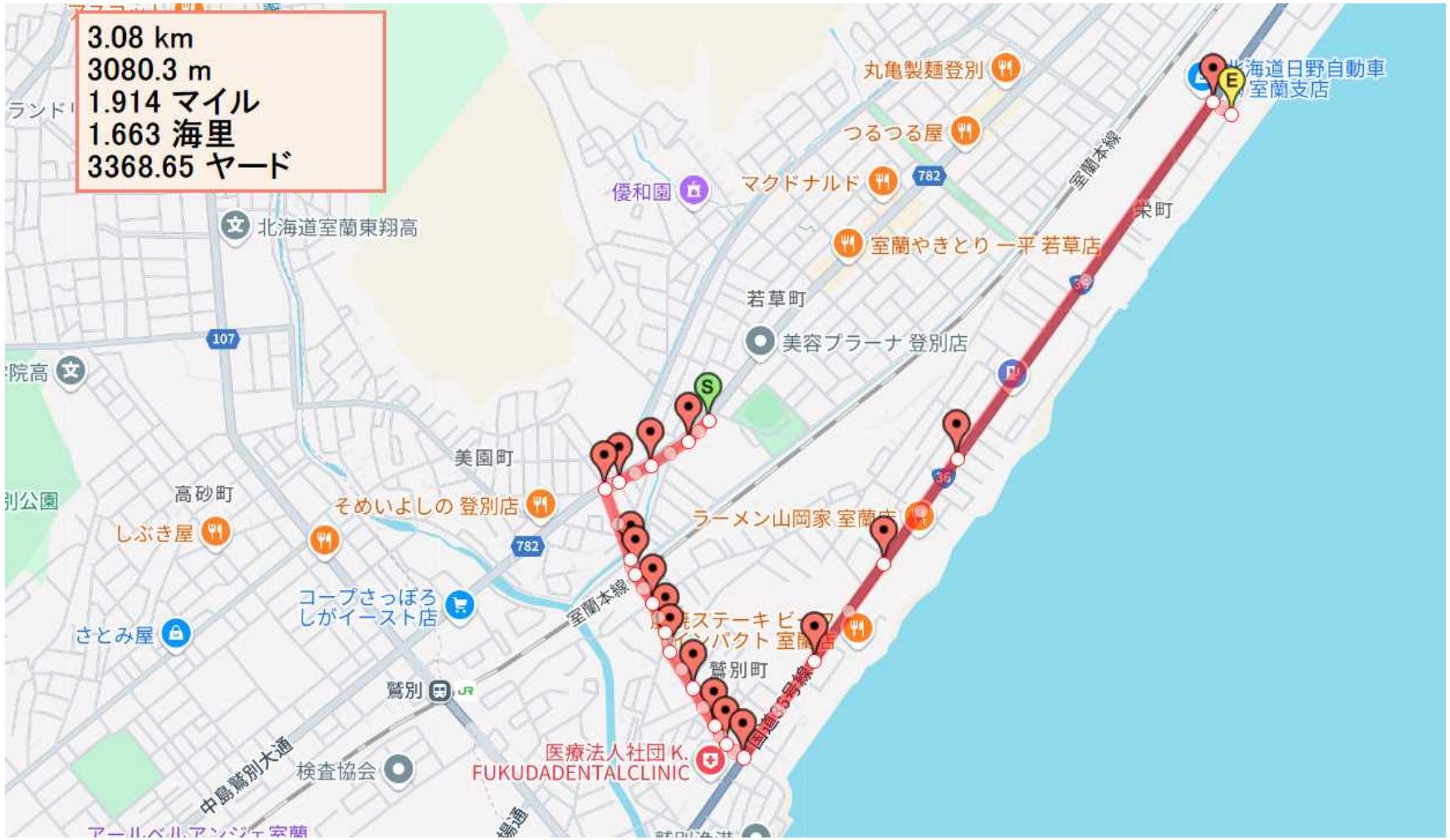
鷲別小学校から高台避難所まで、最短ルートでも約1km

課題に対する案

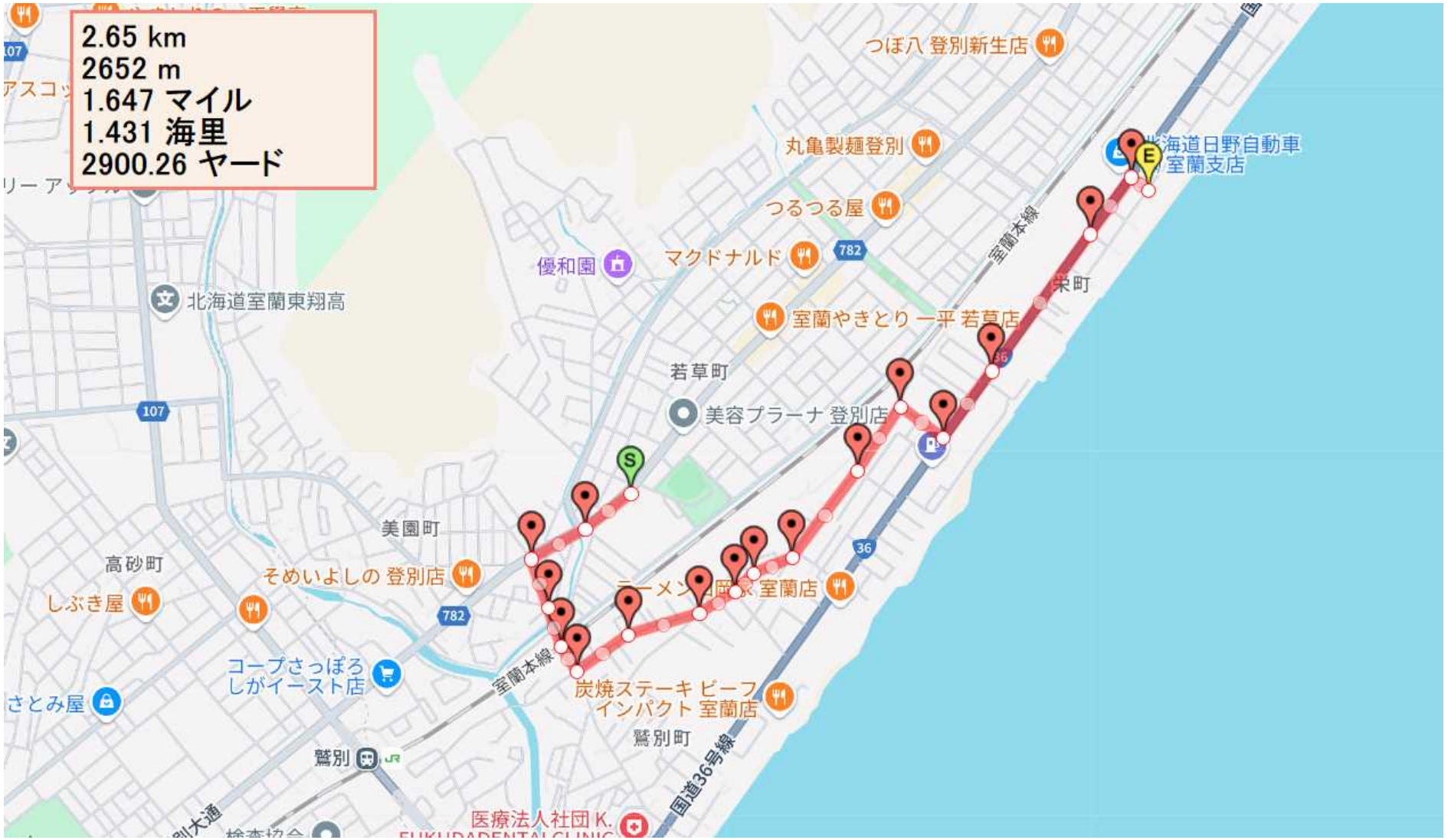
【通学距離】

国は、小学校で4km、中学校で6km以内を通学距離の目安としておりますが、本市では、**小学校で概ね2km、中学校で概ね3km**としています。

それを超えて交通機関を利用して通学する児童生徒には、通学費に対して補助を行っています。



課題に対する案


2.65 km
2652 m
1.647 マイル
1.431 海里
2900.26 ヤード
つぼ八 登別新生店
丸亀製麺登別
つるつる屋
優和園
マクドナルド
782
室蘭本線
北海道日野自動車
室蘭支店
北海道室蘭東翔高
栄町
室蘭やきとり 一平 若草店
若草町
美容プラーナ 登別店
107
美園町
高砂町
そめいよしの 登別店
しぶき屋
ラーメン 室蘭店
36
コープさっぽろ
しがイースト店
さとみ屋
炭焼ステーキ ビーフ
インパクト 室蘭店
鷲別町
鷲別
国道36号線
医療法人社団 K.

課題に対する案


1.9 km
1905.2 m
1.183 マイル
1.028 海里
2083.55 ヤード
オートバックス 室蘭
丸亀製麺登別
とんかつ玉藤登別店
北海道日野自動車(株)室蘭支店
ガリバー登別室蘭店
ファミリーマート 登別栄町店
つるつる屋
(株)尾形組
若草6丁目広場
4丁目
782
室蘭本線
2丁目
マクドナルド
優和園
栄町
2丁目
1丁目
室蘭やきとり一平 若草店
自動車工業(株)
782
3丁目
若草町
5丁目
若草1号公園
美容プラーナ 登別店
1丁目
鳥せい 登別若草店
総合自動車学校
若草公園
室蘭本線
sea side hotel
Wish (シーサイド…
4丁目
5丁目
伊達信用金庫

課題に対する案


2.55 km
2554.7 m
1.587 マイル
1.379 海里
2793.85 ヤード
つるつる屋
優和園
マクドナルド
782
室蘭本線
栄町
若草町
美容プラーナ 登別店
107
美園町
高砂町
そめいよしの 登別店
しぶき屋
782
コープさっぽろ
しがイースト店
室蘭本線
鷲別
鷲別町
医療法人社団 K.
FUKUDADENTALCLINIC
検査協会
中島鷲別大通
市場通
鷲別漁港
107
イエローグローブ
東室蘭店

課題に対する案





課題に対する案



交通安全指導

●学校で

・新年度当初に交通安全指導を実施

・その後も随時実施

●家庭で

・踏切を含む交通安全指導

保護者向けアンケート

対　　象	(1)鷲別小学校に通学する児童の保護者 (2)鷲別地区に居住する未就学児の保護者
実施時期	令和8年7月～8月
実施方法	オンライン回答
集計結果	今後の地区別検討委員会の資料とする
設　　問	別紙